

科目名		授業形態	担当教員名	
運動学Ⅲ		講義	小堀 博史	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
運動学は身体構造や運動力学などを包括した学問であり、その理解の為には、物理学の意味での運動学と、骨・関節の運動学が必要になる。運動学Ⅲでは、解剖学で学修する骨・関節・筋学および運動学Ⅰで学修する生体力学の基礎を基に、下肢分野の骨運動学、関節運動学など生体における運動学を学ぶ。また、併せて動作（歩行）との繋がりについても理解を深めていくことを目的とする。				
授業の到達目標				
下肢の関節構造とそれに関わる関節運動・力学の単語や用語の意味を理解できる。 下肢の動きと制御に関与する構造物の把握とそのメカニズムについて自らの身体を用いて説明できる。 歩行の概要ならびに構成要素を理解し、歩行に必要な運動と下肢関節の関節運動・筋活動との関連性を説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	下肢の運動学総論、骨盤帯・股関節の構造			
2	股関節の運動①			
3	股関節の運動②			
4	骨盤帯と股関節の運動			
5	膝関節の構造①			
6	膝関節の構造②			
7	膝関節の運動①			
8	膝関節の運動②			
9	股と膝関節の運動			
10	足関節の構造			
11	足関節の運動①			
12	足関節の運動②			
13	膝と足関節の運動			
14	歩行の構成要素と運動学①			
15	歩行の構成要素と運動学②			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	80%			
レポート・課題				
小テスト	20%			
平常点				
その他				
自由記載	授業の中で小テストを行います。			
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
基礎運動学 第7版		中村隆一 他	医歯薬出版株式会社	
筋骨格系のキネシオロジー 原著第3版		Donald A. neumann 他	医歯薬出版株式会社	
プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論/運動器系 第4版		坂井建雄・松村譲児 監訳	医学書院	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
PT・OTのための運動学テキスト 基礎・実習・臨床		小柳磨穀 他	金原出版株式会社	
15レクチャーシリーズ 理学療法・作業療法テキスト 運動学		石川朗 他	中山書店	
自由記載				
備考				
・プリント配布、骨標本や骨模型など準備物も多いため、クラスで協力して準備に臨んでください。 ・状況によって進度など変更する場合があります。				